

第 504 回 例 会

24年6月8日

本日のプログラム

- ・ソング 「それでこそロータリー」
- ・卓話 大屋 準一 会員
「『雑学のススめ』地球の歴史」
- ・場所 ANAクラウンプラザホテル大阪 3階「飛鳥の間」

次回(6月22日)のプログラム

- ・ソング 「それでこそロータリー」
- ・卓話 笹田 隆志 会員
「新しく始まるグローバル基金」
- ・場所 ANAクラウンプラザホテル大阪 3階「飛鳥の間」

◎ 6月15日(金)は休会です

お知らせ

6月11日(月)～15日(金)まで、事務局は一週間 お休みをいただきます。 よろしく願いいたします。

先週(6月1日)の例会報告

■会長の時間

皆様こんにちは。今日から6月。紫陽花の美しい季節です。梅雨もいつから始まるのか 蒸し暑い日々のは訪れは大歓迎とは行きませんが四季の彩りは有りがたい事です。琵琶やぶどうがイチゴの後を引き受け スイカも出回っています。果物もやはり四季の味わいですね。美味しい美味しいと戴き乍ら 太るのを気にする私です。子どもの頃 自分達が食した琵琶の種をまきました。今実家には大きな見事な琵琶の木が6本ほどあり 琵琶の実が小ぶりですがたわわになっています。朝早くヒヨドリが食べに来たりして 上手に食べるのに感心致します。私達は露地物だけでなくハウス栽培や輸入で様々な果物を戴きますが鳥や獣は町やら村やら環境に有る食べ物を探して生きています。カラスは園庭に有る手洗い場の石鹸まで食べる雑食性です。自然界の生き物は生存競争の中で必死に生きています。私達も豊かさの次は何かを良く考えなければならぬと思います。先日親が放置して餓死させた子どもの胃袋の中身は プラスチックやら髪の毛やら紙やら。。。かわいそうに食べ物を与えず殺すなどむごい虐待が 日本の国ではあちらこちらでおこっています。子どもを餓死させるやら虐待だらけの国日本。子どもがエンゼルのように羽根があれば飛んで行って食べ物を探すでしょうに。美味しいものだらけの社会でよりによって薬物やハーブで意識もうろうとなった若者が交通事故を起こしている都会。地域でも知らない人だらけで 声を掛け合う事もなく 孤独死があり 殺伐としていく社会。恐ろしい事だと思えます。先週土曜日は母の日コンサートでした。140名の子どもたちが3学年にわかれて美しい歌声を響かせました。おじい様おばあ様もたくさんいらして下さり和気あいあいとした会場でした。300名ほどのお客様です。お猿の駕籠屋 みかんの花咲く頃など懐かしい唱歌も歌いましたが 皆様感動しましたとおっしゃられ嬉しそうでした。長いお歌を各学年6曲ほど歌い ピアニカ ハーモニカの演奏もあり素晴らしかったです。人間の持つ優しさや思いやり又美しさや清らかさを求める心を大切に 音楽を通して育てていけたらと子ども達の心や感性を耕しています。親心の温かさを親たちにも地域の人たちにも持っていただけるように 一隅を照らしていけたらと思えます。有り難うございました。

【来客紹介】 0名

【出席報告】

24年6月1日(第503回例会)				
会員総数	出席免除会員	出席会員	欠席会員	出席率
29名	3名	21名	5名	80.77%

【幹事報告】

〔メールBOXに配布〕

- 1)ロータリーの友(6月号) 2)ゴング引渡し式のご案内 3)活動計画書提出のお願い(次年度委員長へ)

〔回覧資料〕 今週はありません

ニコニコ箱(6月1日)

秋山 千尋 =世界の競争力のランキングで59ヶ国の中で1位は香港、2位は米国で、日本はとうとう27位で、落ちる所まで落ちました。やはりハングリー精神の欠如か？

福島 三雄 =いよいよ6月です。あと1ヶ月、気を引き締めて参ります。

河田 英子 =季節が変わりました。今日から6月！ アジサイ咲く美しい雨のしずくがうれしい(?)季節ですね。

いよいよ私も会長さいごの月。御協力に感謝します。

小林 知義 =一昨日、ふるさとの美作(みまさか)に帰りました。若者達ががんばって再生させた上山棚田を見に行きました。すばらしい景色に感動しました。

森本 良嗣 =今日のホテルの駐車場、私の向いは黒のベンツ、プレートは10—01。隣は黄色のカレラ(ポルシェ) プレートは911。最近私もTOYOTA 86が気に入っています。

妹に欲しかったら買ったと言われていました。腰痛いのにと嫁にバカにされています。

中井 周治 =今日から6月です。今日も暑い日が続きます。皆様、健康にご留意下さい。

小山田光正 =今日から6月ですね。7月11日にかなり気合いを入れたマジックのイベントをこのホテルで開催します。世界ナンバー1のマジシャンが登場しますので、ぜひ見に来てください！ ちなみに小山田も登場します。

【SAA報告】	ニコニコ箱	本日計 7005円	今年度合計 2687361円
---------	-------	-----------	----------------

卓話(6月1日)

「交通事故による『高次脳機能障害』2」 豊島 秀郎 会員

【高次脳機能障害】

1 交通事故においては、昨今の医療技術の発達により、従前では死亡してしまった事例でも命を救えることが多くなりました。このような医療技術の発達により、他方で、命は救えたが重い後遺症を残すという案件が増えています。

その1つに高次脳機能障害の問題があり、平成10年頃から大きな社会問題となっています。

2 高次脳機能とは、主に両側大脳半球領域の神経細胞の集団である皮質(灰白質)に存在する機能のことであり、人間が「より良く生きる」ための機能ともいわれます。人間としてより良く生きるためには、自らの精神状態を安定化させ、他者との人間関係を良好に保ち、社会(家庭)生活を円滑に営んでいくことが必要です。そのための機能をつかさどるのは、前頭葉・頭頂葉・側頭葉・後頭葉、或いは脳梁(左右の大脳を結ぶ)・大脳辺縁系(大脳と脳幹を結ぶ、海馬・扁桃核・帯状回)、基底核などです。

高次脳機能障害は、脳の部分的な損傷よりも、様々な機転(直撃損傷、対向性損傷=打った側と反対側の損傷、回転性損傷=びまん性軸索損傷)による脳全体の損傷(文献1(甲56の2)、246頁)によって生じる器質性精神(神経)障害と表現できます。

同障害は、大きく認知障害と行動・情緒障害及びコミュニケーション障害に分けられますが(その他、失語症等)、様々な症状があります。

3 私は、交通事故による高次脳機能障害の案件を3例扱っていますが、摂食障害まで起こし誰が見ても廃人としか見えない方、高次脳機能障害の症状は出ているものの、ご本人とお母様のご努力により、中学校の講師を勤めている方、専門学校、短大を卒業し、結婚もし(その後離婚)、知能指数にもさして問題がなく、一見普通に見えるが、社会的適応能力がないため、職にも就けず、主治医をして「彼の人生は終わっている」と言わしめた方の3例です。

このような高次脳機能障害に事例については、現在でも、裁判例の主流は、高次脳機能障害と認める要件として、①交通事故時の6時間以上の意識喪失、②脳萎縮の画像的所見、③現時点での高次脳機能障害の症状を要求しています。この結果、交通事故により、現在、高次脳機能障害の症状がでて、就労できないのに、何らの補償が得られないという悲惨な状況が続いています。

こうした中、札幌高裁平成18年5月6日判決が、①の交通事故時の6時間以上の意識喪失及び②の脳萎縮の画像的所見のいずれもなく、③の現時点での高次脳機能の症状がある事例につき、高次脳機能障害を認定しました。しかし、同判決には批判も多く、各地裁交通部は、従前の考え方を踏襲しています。その後、私の認識しているところでは、大阪高裁、東京高裁で、同種案件について高次脳機能障害を認定しましたが、いずれも後遺症の等級は低いものでした。

私は、平成23年、上記の専門学校、短大を卒業し、結婚もし、知能指数にもさして問題がなく、一見普通に見えても、社会的適応能力がないため職に就けない方(上記の①及び②の要件はなく、③の要件しかない。)の事例について、大阪地裁では全面敗訴したものの、大阪高裁で、高次脳機能障害による後遺障害等級7級を認定した和解(和解金額1億円)を勝ち得ることができました。

大阪ユニバーサルシティRC URL: <http://www.osaka-ucrc.org/> E-mai: ucrc@osaka-ucrc.org 創立: 2001年3月27日
事務局 〒530-0005 大阪市北区中之島5-3-68 リーガロイヤルホテル401号室 TEL: 070-5020-6459
会長: 斎藤清貴 幹事: 三宅一郎 会報担当: 大橋高志 例会: 毎週 月曜日 12:30~13:30 リーガロイヤルホテル

4つのテスト / 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか